

年 組 名前 :

問1

『あいの日』を定めた理由を書きましょう。

.....
.....
.....

問2

制定した『あいの日』は毎月の何日ですか。

.....

問3

何校の小中学校が参加していますか。

.....

問4

『藍の日』、『愛の日』、『相の日』にそれぞれ込めた思いは何ですか。

藍の日:

愛の日:

相の日:

藍 愛 相 の 輪 で 結 束

峡北児生連「あいの日」制定



管内25校「コロナ乗り越える」
■ 藤崎、北杜両市の児童生徒でつくる峡北児生連は、毎月1、11、21、31日を「あいの日」と定め、新型コロナウイルス感染症下の連帯を呼び掛けている。該当日は中学生が藍色のリボンを身に付けて、小学校ではポスターを掲示して啓発。10日に児童・生徒会長がテレビ会議システム「Zoom（ズーム）」で遠隔会議を行い、医療従事者や感染者へ寄り添う気持ちを示す「あいの日 協力の輪」を出した。
〈報道部 中嶋寿美子〉

テレビ会議でリボンの着用などを提案する野本あさひさん（中央）ら生徒会役員
■北杜・長坂中

新型コロナウイルス感染拡大で本年度の児生連の行事が中止になり、活動を再検討。県内の感染者が70人を超え、中高生も感染したことから、連帯して危機を乗り越え

ようと企画した。「あい」には、勝ち色と呼ばれる藍色を掲げて感染症に打ち勝つ「藍の輪」、周りの人を大切にす「愛の輪」、相互に助け合う「相の輪」の三つの意味を込めた。アルファベットの「I（アイ）」に似た数字の1が付く日を選んだ。管内25校が参加し、10日の遠隔会議には児童会・生徒会役員が出席。峡北児生連会長で長坂中生徒会長の野本あさひさん（14）らが、リボン着用やポスター掲示を通して、生活を見直す機会にすることを提案。自分や周りの人の命を守るためにできることをしようと呼び掛けた。野本さんは「自分たちもいつ感染してもおかしくない。感染した人がいたら、差別や偏見を持たず寄り添いたい」と話した。

(2020年7月17日付 山梨日日新聞 19面)